

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務 ・編	頁	現行（令和3年4月）	業務 ・編	頁	改正（令和3年11月）
表紙		<p>農林土木業務委託共通仕様書</p> <p>令和3年4月</p> <p>静岡県交通基盤部監修</p>	表紙		<p>農林土木業務委託共通仕様書</p> <p>令和3年11月</p> <p>静岡県交通基盤部監修</p>

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）
測量業務	表紙	<p>測量業務共通仕様書 （農林土木工事）</p> <p>令和3年4月 静岡県交通基盤部監修</p>	測量業務	表紙	<p>測量業務共通仕様書 （農林土木工事）</p> <p>令和3年11月 静岡県交通基盤部監修</p>
測量業務 共通編	2	<p>第1編 共通編 第2条 用語の定義 1 共通仕様書に使用する用語の定義は次の各号に定めるところによる。 (1)～(25) [略]</p> <p><u>(26)</u> 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 <u>(27)</u> 「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した測量業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。 <u>(28)</u> 「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が測量業務等の完了を確認することをいう。 <u>(29)</u> 「打合せ」とは、測量業務等を適正かつ円滑に実施するために業務代理人等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。 <u>(30)</u> 「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補正その他の措置をいう。 <u>(31)</u> 「協力者」とは、受注者が測量業務等の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>	測量業務 共通編	2	<p>第1編 共通編 第2条 用語の定義 1 共通仕様書に使用する用語の定義は次の各号に定めるところによる。 (1)～(25) [略] <u>(26)</u> 「連絡」とは、監督員と受注者の間で、約款第18条に該当しない事項又は緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メール等により互いに知らせることをいう。なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。 <u>(27)</u> 「電子納品」とは、電子成果品を納品することをいう。なお、電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 <u>(28)</u> 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 <u>(29)</u> 「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した測量業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。 <u>(30)</u> 「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が測量業務等の完了を確認することをいう。 <u>(31)</u> 「打合せ」とは、測量業務等を適正かつ円滑に実施するために業務代理人等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。 <u>(32)</u> 「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補正その他の措置をいう。 <u>(33)</u> 「協力者」とは、受注者が測量業務等の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>
	8	<p>第18条 成果物の提出 1～3 [略] 4 受注者は、「測量成果電子納品要領（国土交通省）（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>		9	<p>第18条 成果物の提出 1～3 [略] 4 受注者は、「測量成果電子納品要領（国土交通省・平成30年3月）（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン（静岡県・令和3年4月）」に基づくものとする。</p>
	9	<p>第20条 検査 1～2 [略] 3 検査員は、監督員及び業務代理人等の立会いの上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) [略] (2) 測量業務等管理状況の検査 測量業務等の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>		9	<p>第20条 検査 1～2 [略] 3 検査員は、監督員及び業務代理人等の立会いの上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) [略] (2) 測量業務等管理状況の検査 測量業務等の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>
	13	<p>第33条 安全等の確保 1 受注者は、屋外で行う測量業務等の実施に際しては、測量業務等関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。 (1) 受注者は「土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術審議官通達令和2年3月）」を参考にして常に測量の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。 (2)～(3) [略] 2～8 [略]</p>		13	<p>第33条 安全等の確保 1 受注者は、屋外で行う測量業務等の実施に際しては、測量業務等関係者だけでなく、付近住民、通行者、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。 (1) 受注者は「土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術審議官通達令和3年3月）」を参考にして常に測量の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。 (2)～(3) [略] 2～8 [略]</p>

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）																																																																								
測量業務 農地編	2	<p>第2編 農地 測量編 第1章 確定測量 第1条 適用 静岡県が発注する農地測量業務における確定測量は、静岡県経済産業部農地局確定測量作業規程（平成30年6月25日、国国地第23号、国土交通大臣承認）による。</p>	測量業務 農地編	2	<p>第2編 農地 測量編 第1章 確定測量 第1条 適用 静岡県が発注する農地測量業務における確定測量は、静岡県経済産業部農地局確定測量作業規程（令和3年6月24日、国国地第38号、国土交通大臣承認）による。</p>																																																																								
測量業務 森林整備 保全編	26	<p>第3編 森林整備保全 測量編 第3章 治山事業における防潮工等の測量 第1節 深淺測量 第5条 水深測量 1～2 [略] 3 水深測量 (1) 受注者は、図面及び特記仕様書に定める区域について水深測量を行わなければならない。 (2) 海上測位 ア 受注者は、海上位置測量に使用する機器は六分儀、経緯儀、測距儀、衛星測位機等とし、海上測位位置の精度は、特級水域では±2m、1a級水域及び1b級水域では±5mを確保できるものを使用しなければならない。 イ～ウ [略] (3) 測深 ア 測深機器 受注者は、音響測深機（単素子、多素子、スワス音響測深機含む）及びレーザー測深機、測鉛等により測深を行うものとし、使用する音響測深機は「表2-1音響測深機の性能（水深100m未満）」に示す性能以上のものとする。 なお、特記仕様書に定めがなく、表2-1に示す性能以上の音響測深機により難しい場合は、測量に先立ち監督員に測深方法の承諾を得なければならない。</p> <p style="text-align: center;">表4-1 音響測深機の性能（水深100m未満）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）</td> </tr> <tr> <td>送受波器の指向角</td> <td>半減半角8°以下</td> </tr> <tr> <td>紙送り速度</td> <td>20mm/min以上</td> </tr> <tr> <td>最小目盛</td> <td>0.2m以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スワス音響測深機（マルチビーム）</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>70～455kHz（水深31m未満） 26～455kHz（水深31m～100m未満）</td> </tr> <tr> <td>レンジ分解能</td> <td>5cm以下</td> </tr> <tr> <td>測深ビーム方式</td> <td>クロスファンビーム</td> </tr> <tr> <td>測深ビーム幅</td> <td>1.5度以下×1.5度以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スワス音響測深機（インターフェロメトリ）</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>100～500kHz</td> </tr> <tr> <td>レンジ分解能</td> <td>5cm以下</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>受信素子数</td> <td>4個以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スワス音響測深機は、マルチビーム音響測深機及び位相差式（インターフェロメトリ）音響測深機（受信素子数が4個以上のものに限る。）で船体に固定して使用するものをいう。</p> <p>イ 測深及び水深改正 (7) 受注者は、音響測深法によって得られた水深値について潮位、音速度、吃水等より諸改正を</p>	項目	性能	シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）		仮定音速度	1,500m/s	発振周波数	90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）	送受波器の指向角	半減半角8°以下	紙送り速度	20mm/min以上	最小目盛	0.2m以下	スワス音響測深機（マルチビーム）		仮定音速度	1,500m/s	発振周波数	70～455kHz（水深31m未満） 26～455kHz（水深31m～100m未満）	レンジ分解能	5cm以下	測深ビーム方式	クロスファンビーム	測深ビーム幅	1.5度以下×1.5度以下	スワス音響測深機（インターフェロメトリ）		発振周波数	100～500kHz	レンジ分解能	5cm以下	仮定音速度	1,500m/s	受信素子数	4個以上	測量業務 森林整備 保全編	26	<p>第3編 森林整備保全 測量編 第3章 治山事業における防潮工等の測量 第1節 深淺測量 第5条 水深測量 1～2 [略] 3 水深測量 (1) 受注者は、図面及び特記仕様書に定める区域について水深測量を行わなければならない。 (2) 海上測位 ア 受注者は、海上位置測量に使用する機器は衛星測位機等とし、海上測位位置の精度は、特級水域では±2m、1a級水域及び1b級水域では±5mを確保できるものを使用しなければならない。 イ～ウ [略] (3) 測深 ア 測深機器 受注者は、音響測深機（単素子、多素子、スワス音響測深機含む）及びレーザー測深機、測鉛等により測深を行うものとし、使用する音響測深機は「表2-1音響測深機の性能（水深100m未満）」に示す性能以上のものとする。 なお、特記仕様書に定めがなく、表2-1に示す性能以上の音響測深機により難しい場合は、測量に先立ち監督員に測深方法の承諾を得なければならない。</p> <p style="text-align: center;">表4-1 音響測深機の性能（水深100m未満）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）</td> </tr> <tr> <td>送受波器の指向角</td> <td>半減半角8°以下</td> </tr> <tr> <td>紙送り速度</td> <td>20mm/min以上</td> </tr> <tr> <td>最小目盛</td> <td>0.2m以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スワス音響測深機（マルチビーム）</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>200kHz以上</td> </tr> <tr> <td>レンジ分解能</td> <td>5cm以下</td> </tr> <tr> <td>測深ビーム方式</td> <td>ミルズクロス方式</td> </tr> <tr> <td>測深ビーム幅</td> <td>2度以下×2度以下</td> </tr> <tr> <td colspan="2">スワス音響測深機（インターフェロメトリ）</td> </tr> <tr> <td>発振周波数</td> <td>100～500kHz</td> </tr> <tr> <td>レンジ分解能</td> <td>5cm以下</td> </tr> <tr> <td>仮定音速度</td> <td>1,500m/s</td> </tr> <tr> <td>受信素子数</td> <td>4個以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スワス音響測深機は、マルチビーム音響測深機及び位相差式（インターフェロメトリ）音響測深機（受信素子数が4個以上のものに限る。）で船体に固定して使用するものをいう。</p> <p>イ 測深及び水深改正 (7) 受注者は、音響測深法によって得られた水深値について潮位、音速度、喫水等より諸改正を</p>	項目	性能	シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）		仮定音速度	1,500m/s	発振周波数	90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）	送受波器の指向角	半減半角8°以下	紙送り速度	20mm/min以上	最小目盛	0.2m以下	スワス音響測深機（マルチビーム）		仮定音速度	1,500m/s	発振周波数	200kHz以上	レンジ分解能	5cm以下	測深ビーム方式	ミルズクロス方式	測深ビーム幅	2度以下×2度以下	スワス音響測深機（インターフェロメトリ）		発振周波数	100～500kHz	レンジ分解能	5cm以下	仮定音速度	1,500m/s	受信素子数	4個以上
項目	性能																																																																												
シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）																																																																													
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
発振周波数	90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）																																																																												
送受波器の指向角	半減半角8°以下																																																																												
紙送り速度	20mm/min以上																																																																												
最小目盛	0.2m以下																																																																												
スワス音響測深機（マルチビーム）																																																																													
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
発振周波数	70～455kHz（水深31m未満） 26～455kHz（水深31m～100m未満）																																																																												
レンジ分解能	5cm以下																																																																												
測深ビーム方式	クロスファンビーム																																																																												
測深ビーム幅	1.5度以下×1.5度以下																																																																												
スワス音響測深機（インターフェロメトリ）																																																																													
発振周波数	100～500kHz																																																																												
レンジ分解能	5cm以下																																																																												
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
受信素子数	4個以上																																																																												
項目	性能																																																																												
シングルビーム音響測深機（多素子音響測深機を含む）																																																																													
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
発振周波数	90～230kHz（水深31m未満） 30～230kHz（水深31m～100m未満）																																																																												
送受波器の指向角	半減半角8°以下																																																																												
紙送り速度	20mm/min以上																																																																												
最小目盛	0.2m以下																																																																												
スワス音響測深機（マルチビーム）																																																																													
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
発振周波数	200kHz以上																																																																												
レンジ分解能	5cm以下																																																																												
測深ビーム方式	ミルズクロス方式																																																																												
測深ビーム幅	2度以下×2度以下																																																																												
スワス音響測深機（インターフェロメトリ）																																																																													
発振周波数	100～500kHz																																																																												
レンジ分解能	5cm以下																																																																												
仮定音速度	1,500m/s																																																																												
受信素子数	4個以上																																																																												

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）
		行わなければならない。 (イ)～(オ) [略] (4) [略]			行わなければならない。 (イ)～(オ) [略] (4) [略]
設計業務等	表紙	設計業務等共通仕様書 (農林土木工事) 令和3年4月 静岡県交通基盤部監修	設計業務等	表紙	設計業務等共通仕様書 (農林土木工事) 令和3年11月 静岡県交通基盤部監修
設計業務等 共通編	3	<p>第1編 共通編 第1章 総則 第2条 用語の定義</p> <p>1 共通仕様書に使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。 (1)～(27) [略]</p> <p>(28)「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 (29)「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した設計業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。 (30)「照査」とは、受注者が、発注条件、設計の考え方、構造細目等の確認及び計算書等の検算をすることをいう。 (31)「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が設計業務等の完了を確認することをいう。 (32)「打合せ」とは、設計業務等を適正かつ円滑に実施するために管理技術者等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。 (33)「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補足その他の措置をいう。 (34)「協力者」とは、受注者が設計業務等の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>	設計業務等 共通編	3	<p>第1編 共通編 第1章 総則 第2条 用語の定義</p> <p>1 共通仕様書に使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。 (1)～(27) [略]</p> <p>(28)「連絡」とは、監督員と受注者の間で、約款第18条に該当しない事項又は緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メール等により互いに知らせることをいう。なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。 (29)「電子納品」とは、電子成果物を納品することをいう。なお、電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 (30)「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。 (31)「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した設計業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。 (32)「照査」とは、受注者が、発注条件、設計の考え方、構造細目等の確認及び計算書等の検算をすることをいう。 (33)「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が設計業務等の完了を確認することをいう。 (34)「打合せ」とは、設計業務等を適正かつ円滑に実施するために管理技術者等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。 (35)「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補足その他の措置をいう。 (36)「協力者」とは、受注者が設計業務等の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>
	9	<p>第17条 成果物の提出 1～3 [略] 4 受注者は、「土木設計業務等の電子納品要領（国土交通省）」（以下「要領」）という。に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。「要領」及び「各基準」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>		9	<p>第17条 成果物の提出 1～3 [略] 4 受注者は、「土木設計業務等の電子納品要領（国土交通省・令和2年3月）」（以下「要領」）という。に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。「要領」及び「各基準」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン（静岡県・令和3年4月）」に基づくものとする。</p>
	10	<p>第19条 検査 1～2 [略] 3 検査員は、監督員及び管理技術者の立会いの上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) [略] (2) 設計業務等管理状況の検査 設計業務等の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>		10	<p>第19条 検査 1～2 [略] 3 検査員は、監督員及び管理技術者の立会いの上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。 (1) [略] (2) 設計業務等管理状況の検査 設計業務等の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）
設計業務等 共通編	18	<p>第2章 設計業務一般 第1条 環境配慮の条件 1 受注者は、「循環型社会形成推進基本法」（平成12年6月法律第110号）に基づき、エコマテリアル（自然素材、リサイクル資材等）の使用をはじめ、現場発生材の積極的な利活用を検討し、監督員と協議のうえ設計に反映させるものとする。 2 受注者は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（平成12年5月法律第100号、以下「グリーン購入法」という。）に基づき、物品使用の検討にあたっては環境への負荷が少ない環境物品等の採用を推進するものとする。また、グリーン購入法第10条の規定による県の「<u>環境物品等調達方針及び調達目標</u>」に基づき、特定調達品目の調達に係る設計を行う場合には、事業ごとの特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、原則として、判断の基準を満たすものが調達されるように設計するものとする。 3 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月法律第104号）に基づき、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量を図るなど適切な設計を行うものとする。 4 [略]</p>	設計業務等 共通編	18	<p>第2章 設計業務一般 第1条 環境配慮の条件 1 受注者は、「循環型社会形成推進基本法」（平成24年6月改正 法律第47号）に基づき、エコマテリアル（自然素材、リサイクル資材等）の使用をはじめ、現場発生材の積極的な利活用を検討し、監督員と協議のうえ設計に反映させるものとする。 2 受注者は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成27年9月改正 法律第66号）、以下「グリーン購入法」という。）に基づき、物品使用の検討にあたっては環境への負荷が少ない環境物品等の採用を推進するものとする。また、グリーン購入法第10条の規定による県の「<u>静岡県環境物品等の調達に関する基本方針</u>」に基づき、特定調達品目の調達に係る設計を行う場合には、事業ごとの特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、原則として、判断の基準を満たすものが調達されるように設計するものとする。 3 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成28年6月改正 法律第55号）に基づき、再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量を図るなど適切な設計を行うものとする。 4 [略]</p>
設計業務等 森林整備保全編	11	<p>第3編 森林整備保全 設計編 第2章 治山設計業務 第1 治山ダム工設計 第2条 治山ダム工実施設計 1 [略] 2 業務内容 (1)～(3) [略] (4) 施設設計 ア 本体工設計 受注者は、予定された計画地点の設計条件により、治山ダムの位置、高さ及び構造等を決定し、設計計算及び計算結果に基づく施設設計図面の作成を行うものとする。なお、施設設計の範囲は、特記仕様書によるものとし、特記が無い場合は以下のとおりとする。 (ア) 治山ダム本体工 (イ) 副ダム (ウ) 水叩き (エ) 側壁護岸 (オ) 床固工 <u>(カ) 魚道工</u> イ～ウ [略] (5)～(9) [略]</p>	設計業務等 森林整備保全編	11	<p>第3編 森林整備保全 設計編 第2章 治山設計業務 第1 治山ダム工設計 第2条 治山ダム工実施設計 1 [略] 2 業務内容 (1)～(3) [略] (4) 施設設計 ア 本体工設計 受注者は、予定された計画地点の設計条件により、治山ダムの位置、高さ及び構造等を決定し、設計計算及び計算結果に基づく施設設計図面の作成を行うものとする。なお、施設設計の範囲は、特記仕様書によるものとし、特記が無い場合は以下のとおりとする。 (ア) 治山ダム本体工 (イ) 副ダム (ウ) 水叩き (エ) 側壁護岸 (オ) 床固工 <u>(削る)</u> イ～ウ [略] (5)～(9) [略]</p>

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）																																																																																																												
設計業務等 森林整備保全編	27	<p>第2 流木対策 第10条 成果物 受注者は、以下に示す成果物を作成し、共通編第17条成果物の提出に従い、2部納品するものとする。 1～5 [略] 6 流木対策工予備設計の成果物</p> <p>表3-6 流木対策工予備設計の成果物一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報告書現地踏査</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項検討</td> <td>(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配置設計</td> <td>(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>概算工事費</td> <td>概算工事費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最適案の選定</td> <td>比較案評価、最適案選定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画検討</td> <td>(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>(1) 照査報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">予備設計図面</td> <td>(1) 全体平面図</td> <td>1:500～1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 全体縦断面図</td> <td>縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 標準構造図</td> <td>1:50～1:200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	報告書現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項検討	(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討			配置設計	(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討			施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討			概算工事費	概算工事費			最適案の選定	比較案評価、最適案選定			施工計画検討	(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討			照査	(1) 照査報告書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目			報告書作成	報告書			予備設計図面	(1) 全体平面図	1:500～1:1,000		(2) 全体縦断面図	縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000		(3) 標準構造図	1:50～1:200		設計業務等 森林整備保全編	27	<p>第2 流木対策 第10条 成果物 受注者は、以下に示す成果物を作成し、共通編第17条成果物の提出に従い、2部納品するものとする。 1～5 [略] 6 流木対策工予備設計の成果物</p> <p>表3-6 流木対策工予備設計の成果物一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地踏査</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項検討</td> <td>(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配置設計</td> <td>(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>概算工事費</td> <td>概算工事費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最適案の選定</td> <td>比較案評価、最適案選定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画検討</td> <td>(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>(1) 照査報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">予備設計図面</td> <td>(1) 全体平面図</td> <td>1:500～1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 全体縦断面図</td> <td>縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 標準構造図</td> <td>1:50～1:200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項検討	(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討			配置設計	(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討			施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討			概算工事費	概算工事費			最適案の選定	比較案評価、最適案選定			施工計画検討	(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討			照査	(1) 照査報告書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目			報告書作成	報告書			予備設計図面	(1) 全体平面図	1:500～1:1,000		(2) 全体縦断面図	縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000		(3) 標準構造図	1:50～1:200	
設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																														
報告書現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																																
基本事項検討	(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討																																																																																																																
配置設計	(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討																																																																																																																
施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討																																																																																																																
概算工事費	概算工事費																																																																																																																
最適案の選定	比較案評価、最適案選定																																																																																																																
施工計画検討	(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討																																																																																																																
照査	(1) 照査報告書																																																																																																																
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目																																																																																																																
報告書作成	報告書																																																																																																																
予備設計図面	(1) 全体平面図	1:500～1:1,000																																																																																																															
	(2) 全体縦断面図	縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000																																																																																																															
	(3) 標準構造図	1:50～1:200																																																																																																															
設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																														
現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																																
基本事項検討	(1) 地形・地質条件 (2) 設計条件 (3) 工種・工法の検討 (4) 構造物の位置の検討 (5) 環境検討																																																																																																																
配置設計	(1) 構造・材料・高さの検討 (2) 配置案の検討																																																																																																																
施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 基本図作成 (3) 数量算出 (4) 景観検討																																																																																																																
概算工事費	概算工事費																																																																																																																
最適案の選定	比較案評価、最適案選定																																																																																																																
施工計画検討	(1) 施工計画の検討 (2) 転流方法の概略検討																																																																																																																
照査	(1) 照査報告書																																																																																																																
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の調査項目																																																																																																																
報告書作成	報告書																																																																																																																
予備設計図面	(1) 全体平面図	1:500～1:1,000																																																																																																															
	(2) 全体縦断面図	縦 1:100～1:200 横 1:500～1:1,000																																																																																																															
	(3) 標準構造図	1:50～1:200																																																																																																															

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行 (令和3年4月)	業務・編	頁	改正 (令和3年11月)																																																																																																								
設計業務等 森林整備 保全編	28	7 流木対策工実施設計の成果物 表3-7 流木対策工実施設計の成果物一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報告書</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項検討</td> <td>(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画概要書</td> <td>(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>数量計算書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基本図面</td> <td>(1) 位置図</td> <td>1:2,500~1:50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 平面図</td> <td>1:500~1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 縦断図</td> <td>H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 横断図</td> <td>1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 構造図</td> <td>1:50~1:100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 施工計画図</td> <td>1:100~1:1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	報告書	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項検討	(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討			施設設計検討	(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討			施工計画概要書	(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討			数量計算	数量計算書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項			基本図面	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000		(1) 平面図	1:500~1:1,000		(2) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200		(3) 横断図	1:100~1:200		(4) 構造図	1:50~1:100		(5) 施工計画図	1:100~1:1,000			設計業務等 森林整備 保全編	28	7 流木対策工実施設計の成果物 表3-7 流木対策工実施設計の成果物一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地踏査</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項検討</td> <td>(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画概要書</td> <td>(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>数量計算書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基本図面</td> <td>(1) 位置図</td> <td>1:2,500~1:50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1) 平面図</td> <td>1:500~1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 縦断図</td> <td>H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 横断図</td> <td>1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 構造図</td> <td>1:50~1:100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 施工計画図</td> <td>1:100~1:1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項検討	(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討			施設設計検討	(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討			施工計画概要書	(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討			数量計算	数量計算書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項			基本図面	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000		(1) 平面図	1:500~1:1,000		(2) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200		(3) 横断図	1:100~1:200		(4) 構造図	1:50~1:100		(5) 施工計画図	1:100~1:1,000										
	設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																									
報告書	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																												
基本事項検討	(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討																																																																																																												
施設設計検討	(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討																																																																																																												
施工計画概要書	(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討																																																																																																												
数量計算	数量計算書																																																																																																												
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項																																																																																																												
基本図面	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000																																																																																																											
	(1) 平面図	1:500~1:1,000																																																																																																											
	(2) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200																																																																																																											
	(3) 横断図	1:100~1:200																																																																																																											
	(4) 構造図	1:50~1:100																																																																																																											
(5) 施工計画図	1:100~1:1,000																																																																																																												
設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																										
現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																												
基本事項検討	(1) 基本事項の検討 (2) 施設構造の検討																																																																																																												
施設設計検討	(1) 付属構造物の検討 (2) 基礎工の検討 (3) 施工の検討 (4) 各施設の安定検討																																																																																																												
施工計画概要書	(1) 施工法の検討 (2) 仮設計画の検討																																																																																																												
数量計算	数量計算書																																																																																																												
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項																																																																																																												
基本図面	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000																																																																																																											
	(1) 平面図	1:500~1:1,000																																																																																																											
	(2) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200																																																																																																											
	(3) 横断図	1:100~1:200																																																																																																											
	(4) 構造図	1:50~1:100																																																																																																											
(5) 施工計画図	1:100~1:1,000																																																																																																												
	29	8 流路工実施設計 表3-8 流路工実施設計の成果物一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報告書現地踏査</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項決定</td> <td>(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画及び仮設構造物設計</td> <td>(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量計算書</td> <td>数量計算書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>照査報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">実施設計図</td> <td>(1) 位置図</td> <td>1:2,500~1:50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 平面図</td> <td>1:500~1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 縦断図</td> <td>H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 横断図</td> <td>1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 構造図</td> <td>1:50~1:100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	報告書現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項決定	(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件			施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計			施工計画及び仮設構造物設計	(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計			数量計算書	数量計算書			照査	照査報告書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項			報告書作成	報告書			実施設計図	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000		(2) 平面図	1:500~1:1,000		(3) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200		(4) 横断図	1:100~1:200		(5) 構造図	1:50~1:100			29	8 流路工実施設計 表3-8 流路工実施設計の成果物一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計項目</th> <th>成果物</th> <th>縮尺</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地踏査</td> <td>現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本事項決定</td> <td>(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設設計検討</td> <td>(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工計画及び仮設構造物設計</td> <td>(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量計算書</td> <td>数量計算書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>照査報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合検討</td> <td>(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>報告書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">実施設計図</td> <td>(1) 位置図</td> <td>1:2,500~1:50,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 平面図</td> <td>1:500~1:1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) 縦断図</td> <td>H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 横断図</td> <td>1:100~1:200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 構造図</td> <td>1:50~1:100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計項目	成果物	縮尺	摘要	現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ			基本事項決定	(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件			施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計			施工計画及び仮設構造物設計	(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計			数量計算書	数量計算書			照査	照査報告書			総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項			報告書作成	報告書			実施設計図	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000		(2) 平面図	1:500~1:1,000		(3) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200		(4) 横断図	1:100~1:200		(5) 構造図	1:50~1:100	
設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																										
報告書現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																												
基本事項決定	(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件																																																																																																												
施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計																																																																																																												
施工計画及び仮設構造物設計	(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計																																																																																																												
数量計算書	数量計算書																																																																																																												
照査	照査報告書																																																																																																												
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項																																																																																																												
報告書作成	報告書																																																																																																												
実施設計図	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000																																																																																																											
	(2) 平面図	1:500~1:1,000																																																																																																											
	(3) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200																																																																																																											
	(4) 横断図	1:100~1:200																																																																																																											
	(5) 構造図	1:50~1:100																																																																																																											
設計項目	成果物	縮尺	摘要																																																																																																										
現地踏査	現地写真、ルートマップ 結果とりまとめ																																																																																																												
基本事項決定	(1) 設計諸元 (2) 計画断面 (3) 床固工、帯工の基本構造 (4) 地形地質条件・環境条件																																																																																																												
施設設計検討	(1) 設計計算 (2) 設計図作成 (3) 護岸工付帯構造物設計 (4) 景観設計																																																																																																												
施工計画及び仮設構造物設計	(1) 施工計画 (2) 仮設構造物設計																																																																																																												
数量計算書	数量計算書																																																																																																												
照査	照査報告書																																																																																																												
総合検討	(1) 課題整理 (2) 今後の解決事項																																																																																																												
報告書作成	報告書																																																																																																												
実施設計図	(1) 位置図	1:2,500~1:50,000																																																																																																											
	(2) 平面図	1:500~1:1,000																																																																																																											
	(3) 縦断図	H=1:200~1:1,000 V=1:100~1:200																																																																																																											
	(4) 横断図	1:100~1:200																																																																																																											
	(5) 構造図	1:50~1:100																																																																																																											
	9	[略]		9	[略]																																																																																																								

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）
地質・土質調査業務	表紙	<p>地質・土質調査業務共通仕様書 (農林土木工事)</p> <p>令和3年4月 静岡県交通基盤部監修</p>	地質・土質調査業務	表紙	<p>地質・土質調査業務共通仕様書 (農林土木工事)</p> <p>令和3年11月 静岡県交通基盤部監修</p>
地質・土質調査業務 共通編	2	<p>第1編 共通編 第2条 用語の定義 共通仕様書に使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。 (1)～(27) [略]</p> <p>(28)「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。緊急を要する場合は電子メール又はファクシミリ等により伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し換えるものとする。なお、電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>(29)「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した地質・土質調査業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。</p> <p>(30)「立会」とは、設計図書に示された項目において、監督員が臨場し内容を確認することをいう。</p> <p>(31)「照査」とは、受注者が、発注条件、調査結果等の確認及び解析等の検算をすることをいう。</p> <p>(32)「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が地質・土質調査業務の完了を確認することをいう。</p> <p>(33)「打合せ」とは、地質・土質調査業務を適正かつ円滑に実施するために業務代理人等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。</p> <p>(34)「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補足その他の措置をいう。</p> <p>(35)「協力者」とは、受注者が地質・土質調査業務の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>	地質・土質調査業務 共通編	2	<p>第1編 共通編 第2条 用語の定義 共通仕様書に使用する用語の定義は、次の各号に定めるところによる。 (1)～(27) [略]</p> <p>(28)「連絡」とは、監督員と受注者の間で、約款第18条に該当しない事項又は緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メール等により互いに知らせることをいう。なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。</p> <p>(29)「電子納品」とは、電子成果物を納品することをいう。なお、電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>(30)「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、承諾については署名を、それ以外の場合は記名したものを有効とする。緊急を要する場合は電子メール又はファクシミリ等により伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し換えるものとする。なお、電子納品を行う場合は、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>(31)「成果物」とは、受注者が契約図書に基づき履行した地質・土質調査業務等の成果を記録した図書、図面及び関連する資料をいう。</p> <p>(32)「立会」とは、設計図書に示された項目において、監督員が臨場し内容を確認することをいう。</p> <p>(33)「照査」とは、受注者が、発注条件、調査結果等の確認及び解析等の検算をすることをいう。</p> <p>(34)「検査」とは、契約図書に基づき、検査員が地質・土質調査業務の完了を確認することをいう。</p> <p>(35)「打合せ」とは、地質・土質調査業務を適正かつ円滑に実施するために業務代理人等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。</p> <p>(36)「修補」とは、発注者が検査時に受注者の負担に帰すべき理由による不良箇所を発見した場合に受注者が行うべき訂正、補足その他の措置をいう。</p> <p>(37)「協力者」とは、受注者が地質・土質調査業務の遂行に当たって、再委託する者をいう。</p>
	8	<p>第18条 成果物の提出 1～3 [略]</p> <p>4 受注者は、「地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省）（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。要領で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p> <p>5 [略]</p>		8	<p>第18条 成果物の提出 1～3 [略]</p> <p>4 受注者は、「地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成28年10月）（以下「要領」という。）」に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。要領で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上決定するものとする。なお、電子納品に対応するための措置については「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン（静岡県・令和3年4月）」に基づくものとする。</p> <p>5 [略]</p>
	9	<p>第20条 検査 1～2 [略]</p> <p>3 検査員は、監督員及び業務代理人等の立会の上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 地質・土質調査業務管理状況の検査 地質・土質調査業務の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>		9	<p>第20条 検査 1～2 [略]</p> <p>3 検査員は、監督員及び業務代理人等の立会の上、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 地質・土質調査業務管理状況の検査 地質・土質調査業務の状況について、書類、記録及び写真等により検査を行う。なお、電子納品の検査時の対応については、「静岡県情報共有・電子納品運用ガイドライン」に基づくものとする。</p>

農林土木業務委託共通仕様書 新旧対照表

業務・編	頁	現行（令和3年4月）	業務・編	頁	改正（令和3年11月）
地質・土質 調査業務 農地編	6	<p>第2編 農地 地質・土質調査編</p> <p>第1章 ボーリング調査</p> <p>第1節 機械ボーリング</p> <p>第4条 成果物</p> <p>1 成果物は、次のものを提出するものとする。</p> <p>(1)～(2) [略]</p> <p>(3) 採取したコアは標本箱に収納し、調査件名・孔番号・深度等を記入し提出しなければならない。なお、未固結の試料は、1m毎又は各土層ごとに標本ビンに密封して収納するものとする。採取したコアの提出要否については、監督員と協議するものとする。</p> <p>(4) [略]</p>	地質・土質 調査業務 農地編	6	<p>第2編 農地 地質・土質調査編</p> <p>第1章 ボーリング調査</p> <p>第1節 機械ボーリング</p> <p>第4条 成果物</p> <p>1 成果物は、次のものを提出するものとする。</p> <p>(1)～(2) [略]</p> <p>(3) 採取したコアは標本箱に収納し、調査件名・孔番号・深度等を記入する。なお、未固結の試料は、1m毎又は各土層ごとに標本ビンに密封して収納するものとする。採取したコアの提出要否については、監督員と協議するものとする。</p> <p>(4) [略]</p>
	12	<p>第4章 原位置試験</p> <p>第1節 <u>孔内水平載荷試験（プレッシャーメータ試験）</u></p> <p>第2条 試験等</p> <p>1 試験方法及び器具は、<u>JGS 1421（孔内水平載荷試験方法【地盤のプレッシャーメータ試験】）</u>によるものとする。</p> <p>2 [略]</p> <p>3 <u>孔内水平載荷試験</u>は、等圧分布載荷法又は等変位載荷法によるものとする。</p> <p>(1)～(6) [略]</p>		12	<p>第4章 原位置試験</p> <p>第1節 <u>孔内載荷試験</u></p> <p>第2条 試験等</p> <p>1 試験方法及び器具は、<u>JGS1531「地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験」、JGS3531「地盤の物性を評価するためのプレッシャーメータ試験」及びJGS3532「ボアホールジャッキ試験」</u>によるものとする。</p> <p>2 [略]</p> <p>3 <u>孔内載荷試験</u>は、等圧分布載荷法又は等変位載荷法によるものとする。</p> <p>(1)～(6) [略]</p>
	12	<p>第3条 成果物</p> <p>1 成果物は、次のものを提出するものとする。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>(4) 試験の結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙の <u>JGS 1421（孔内水平載荷試験方法【地盤のプレッシャーメータ試験】）</u>により整理し提出するものとする。</p>		12	<p>第3条 成果物</p> <p>1 成果物は、次のものを提出するものとする。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>(4) 試験の結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙の <u>JGS1531「地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験」、JGS3531「地盤の物性を評価するためのプレッシャーメータ試験」及びJGS3532「ボアホールジャッキ試験」</u>により整理し提出するものとする。</p>
地質・土質 調査業務 森林整備 保全編	13	<p>第3編 森林整備保全 地質・土質調査編</p> <p>第3章 土質調査（海岸）</p> <p>第7条 原位置試験</p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 <u>孔内水平載荷試験（プレッシャーメータ試験）</u></p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 受注者は、<u>「JGS1421-2003 孔内水平載荷試験方法」</u>により載荷試験を行わなければならない。</p> <p>(3) [略]</p> <p>5～7 [略]</p>	地質・土質 調査業務 森林整備 保全編	13	<p>第3編 森林整備保全 地質・土質調査編</p> <p>第3章 <u>土質調査（海岸）</u></p> <p>第7条 <u>原位置試験</u></p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 <u>孔内載荷試験</u></p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 受注者は、<u>JGS1531「地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験」、JGS3531「地盤の物性を評価するためのプレッシャーメータ試験」及びJGS3532「ボアホールジャッキ試験」</u>により載荷試験を行わなければならない。</p> <p>(3) [略]</p> <p>5～7 [略]</p>
工事監理 補助業務 等	表紙	<p>工事監理補助業務等共通仕様書 （農林土木工事）</p> <p>令和3年4月 静岡県交通基盤部監修</p>	工事監理 補助業務 等	表紙	<p>工事監理補助業務等共通仕様書 （農林土木工事）</p> <p>令和3年11月 静岡県交通基盤部監修</p>